

《最近の県内経済》 (2023年3月を中心として)

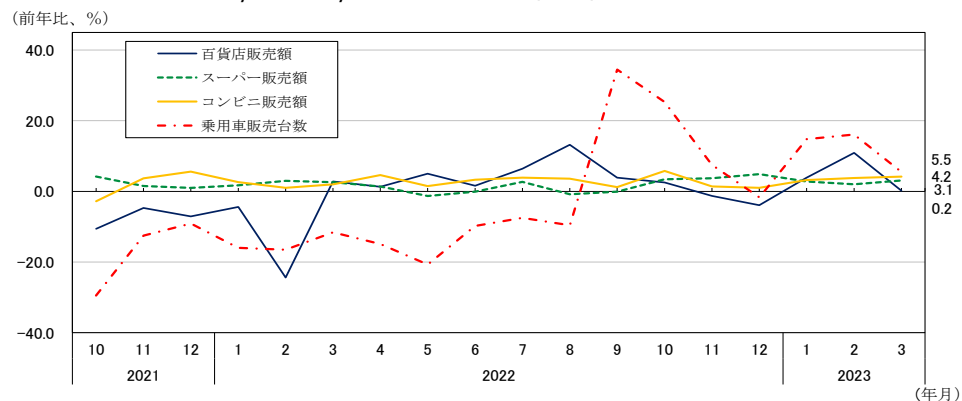
2023年5月31日

今月の概要

緩やかに持ち直している。

1 個人消費 ~持ち直しの動きが続いている

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、持ち直しの動きが続いている。

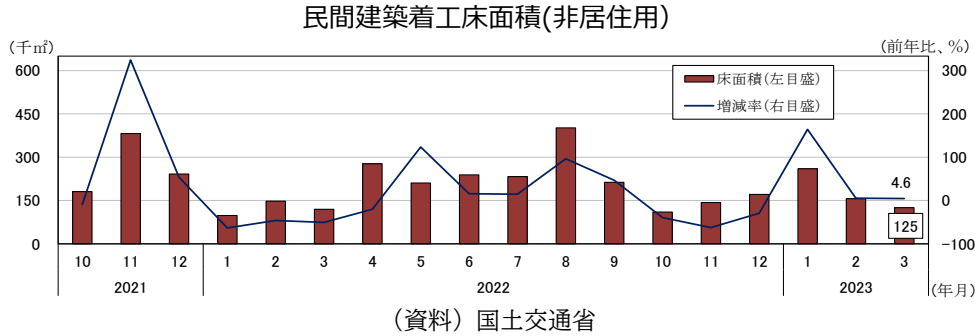
3月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店が145億円で前年比0.2%増（3か月連続の増加）、スーパーは1,012億円で同3.1%増（6か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は566億円で同4.2%増と17か月連続の増加となった。外出機会増加、卒入学・新生活需要等による衣料品・装飾雑貨、行楽需要やイベント回復によるお弁当や総菜類、飲料品等が好調だった。

また、乗用車販売は、前年比5.5%増と3か月連続の増加となった。内訳をみると、小型車が同2.1%減と4か月連続の減少、軽乗用車が同0.6%減と7か月ぶりの減少となったものの、普通車が同15.3%増と3か月連続の増加となった。

3月の専門量販店販売額は、780億円で前年比2.2%増と7か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が195億円で同3.5%減（5か月連続の減少）、ドラッグストアが411億円で同4.9%増（10か月連続の増加）、ホームセンターが174億円で同2.5%増（4か月連続の増加）となった。

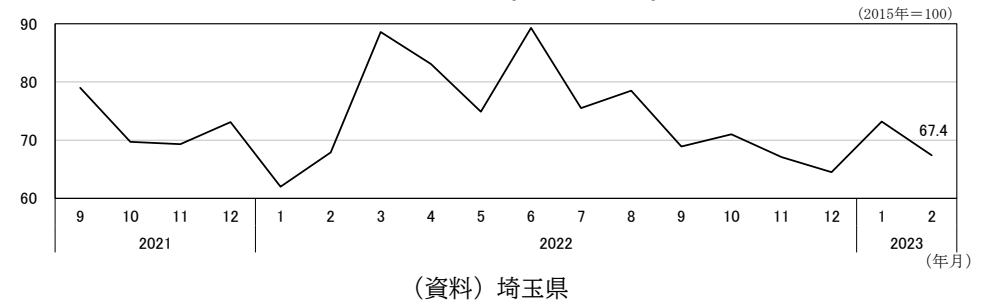
関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、2月〈31.6〉、3月〈34.9〉、4月〈36.2〉と改善している。なお、当社のヒアリング調査によると、外食、宿泊等個人向けサービス業の売上は増加に転じている。

設備投資 ~持ち直している



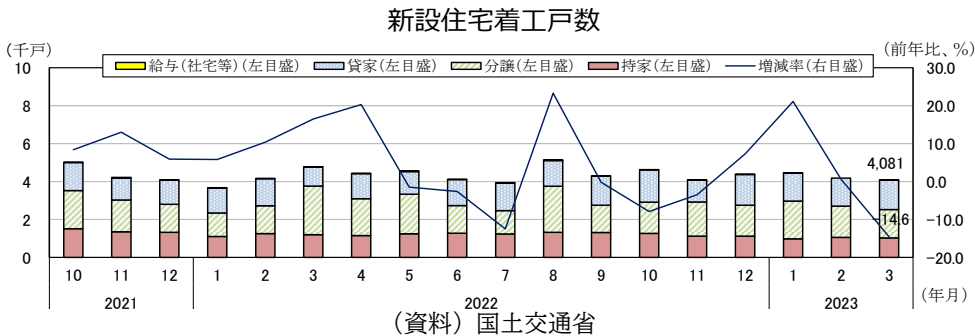
3月の民間建築着工床面積（非居住用）は、125千㎡で前年比4.6%増と3か月連続の増加となった（5か月後方移動平均では前年比13.6%減）。用途別にみると、店舗、倉庫、学校の校舎は減少したものの、事務所、工場及び作業場、病院・診療所がいずれも増加した。

資本財出荷指数(季節調整済)



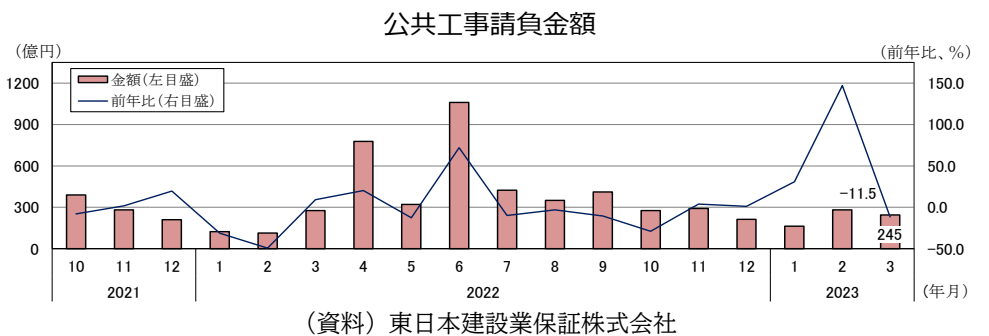
2月の資本財出荷指数（季節調整済）は67.4で、前月比7.9%減と2か月ぶりの減少となった（5か月後方移動平均では、前年比0.3%減）。

3 住宅建設 ~横ばいとなっている



3月の新設住宅着工戸数は、4,081戸で前年比14.6%減と4か月ぶりの減少となった（5か月後方移動平均は1.2%増、4か月連続の増加）。利用関係別にみると、貸家（1,557戸）が同54.3%増となったものの、持家（1,027戸）が同14.1%減、分譲マンション（198戸）が同84.0%減、分譲一戸建（1,286戸）が3.3%減といずれも減少した。

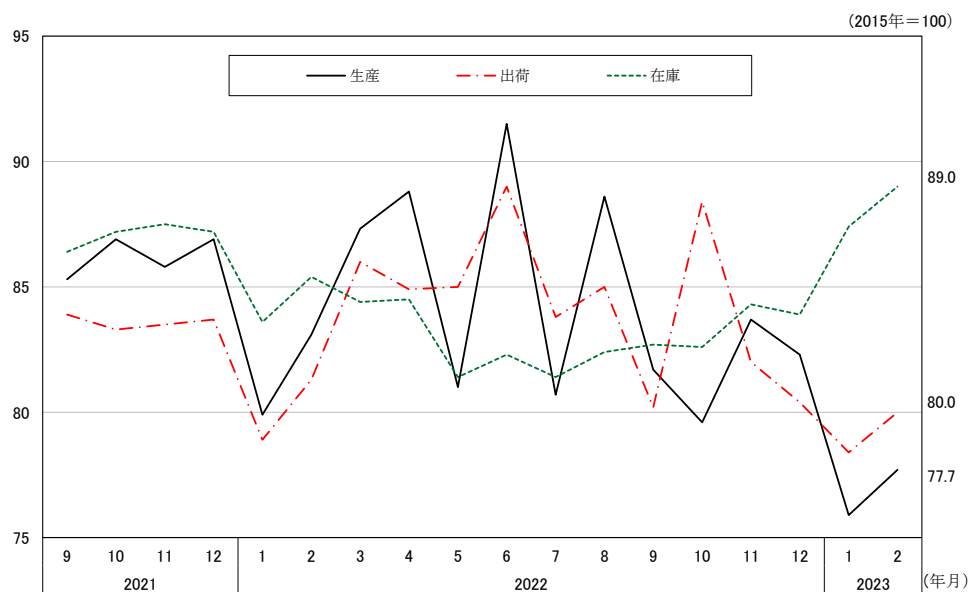
4 公共工事 ~横ばいとなっている



3月の公共工事請負額は245億円、前年比11.5%減となった（5か月ぶりの減少）。5か月後方移動平均では前年比18.7%増で推移。発注者別でみると、都道府県は増加したものの、国、独立行政法人等、市区町村は、いずれも減少した。

5 生産活動 ～弱含んでいる

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



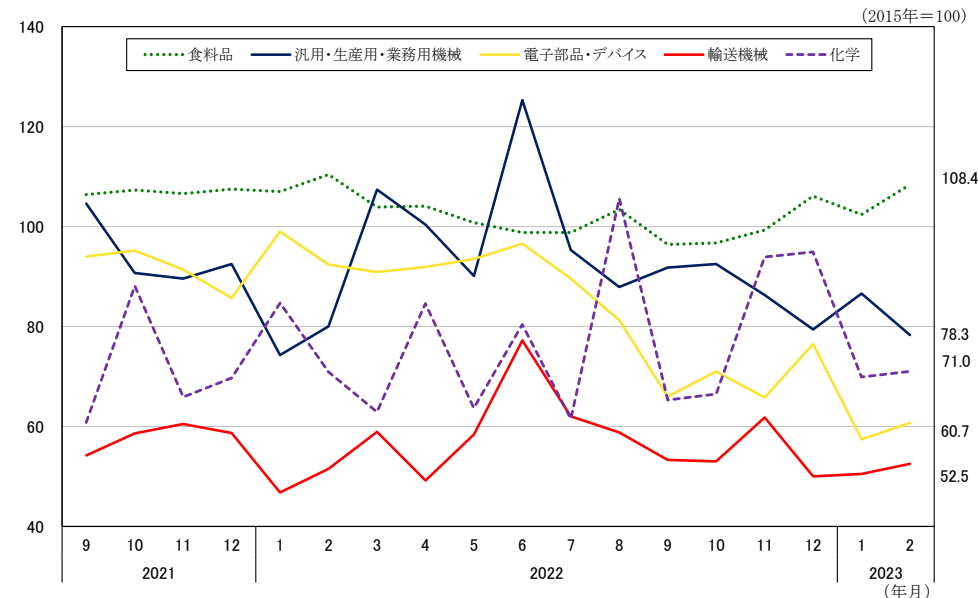
(資料) 埼玉県

2月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、77.7で前月比2.4%上昇した(3か月ぶりの上昇)。生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、包装・荷造機械)、繊維(不織布、織物製繊維製品)などが低下したが、情報通信機械(カーナビゲーション、カーオーディオ)、食料品(炭酸飲料、チョコレート)などが上昇した。

出荷指数(同)は、80.0で同2.0%上昇(4か月ぶりの上昇)。生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、包装・荷造機械)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、衛生用紙)などが低下したが、電子部品・デバイス工業(混成集積回路、プリント配線実装基板)、輸送機械(乗用車、普通トラック)などが上昇した。

在庫指数(同)は、89.0で同1.8%上昇した(2か月連続の上昇)。パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、特殊印刷用紙)、電子部品・デバイス工業(混成集積回路、高電変換素子)などが低下したが、情報通信機械(ガス警報器、その他の陸上移動通信装置)などが上昇した。

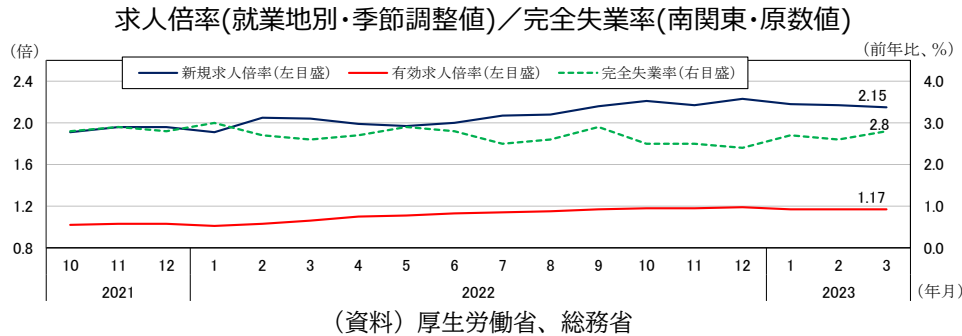
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

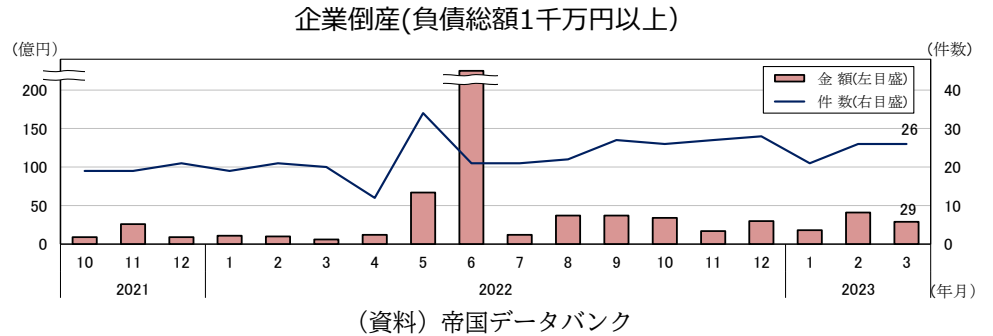
- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、108.4で前月比5.9%上昇、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、78.3で同9.5%低下、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、60.7で同5.7%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、52.5で同4.0%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、71.0で同1.6%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

6 雇用情勢 ～穏やかに持ち直している



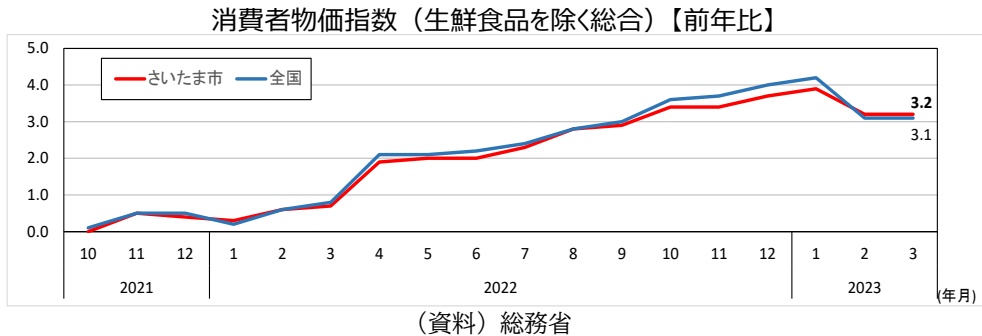
3月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.17倍で前月比横ばいとなった。また、新規求人倍率(同)は、2.15倍で前月比0.02ポイント低下した(3か月連続の低下)。完全失業率(南関東、原数値)は、2.8%で前年同月比0.2ポイント上昇した(前年同月比13か月ぶりの上昇)。

7 企業倒産 ～増加傾向にある



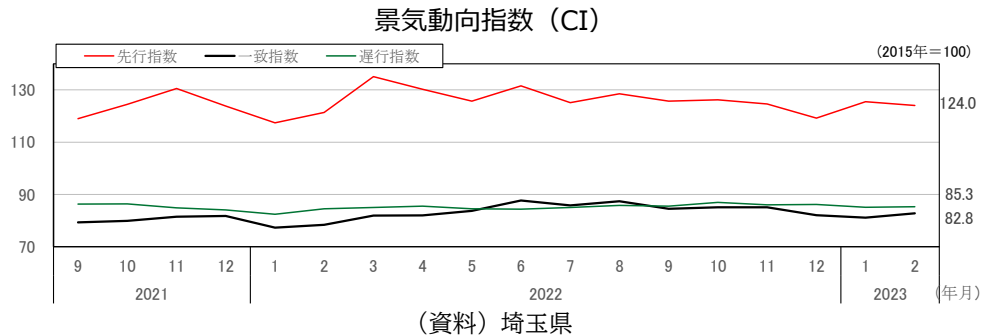
3月の企業倒産件数は、26件で前年同月比6件の増加となった。負債総額は29億円で同23億円の増加となった。業種別にみると、運輸・通信業が最多で8件。次いで卸売業が6件、サービス業が5件と続いている。主因別では、販売不振が21件となっている。

8 消費者物価 ～上昇率がやや鈍化している



3月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、前年同月比3.2%上昇した。食料(主に乳卵類や菓子類)、教養娯楽(主に旅行代金等)等の上昇が全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI) ～下方への局面変化を示している



- ・2月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、82.8で前月比1.7ポイント上昇し、4か月ぶり連続の上昇となった。
- ・CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、124.0で同1.5ポイント低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ・CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、85.3で同0.2ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。